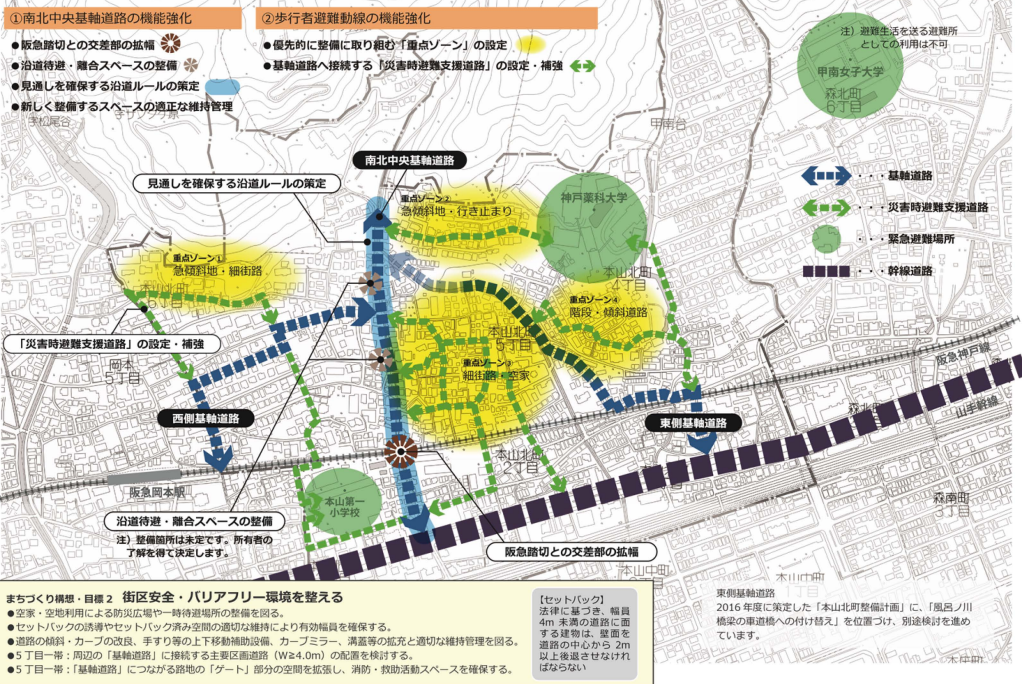


## だんじりでつながる保久良四地区 - 本山北町まち づくり協議会より

著者	三浦 麻由，福島 遥奈，角本 恭兵，甲南大学久保ゼミ，久保 はるか
雑誌名	「大学周辺地域の歴史を知る」シリーズ
巻	3
ページ	31-32
発行年	2019-03
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1260/00003453/">http://id.nii.ac.jp/1260/00003453/</a>

まちづくり構想・目標2に関する「まちづくり計画」



本山北町まちづくり協議会の活動

まち協の活動対象範囲は、本山北町一〜六丁目、北畑、田邊、甲南台（面積：約六十五ha）六五〇〇世帯所帯）です。発足のきっかけは、八年前（二〇一一年）神戸市より出された、住民の長年の夢であった「本山山手線」廃止案（理由：少子化・若者の車離れ）の通告と新たなまちづくり活動の提案でした。

その後、市側説明会（計四回）・まちづくり検討会（計十回）・Newsletter Vol.12発行等を経て、設立総会（二〇二二年二月）を迎え、現在、毎月の定例会も六〇回超えとなりました。この間、地域住民、行政、コンサルタントの皆様方から頂いた絶大なるご協力・ご支援のおかげです。当地区では、全体を力バーする自治組織がない中、地域住民同士が、まちづくり活動に協力出来たべーは、「だんじり祭り」が挙げられると思います。

今後共、我々の地域の将来像を、地域全住民で力を合わせ実現して行きましよう。

まち協のまちづくり活動の根底には、「三〇年後の南海トラフ大震災に備えて（阪神大震災反省より）」の概念が横たわっており、「まちづくり構想・計画」の早期実現が必須です。

また、次世代の地域の将来像を更に模索し、その実現に向け取り組み続けて欲しいものです。

そして現在の設立目的は、以下の通りです。

『地域の歴史や文化を受け継ぎながら、暮らし易く安全で安心な市街地への改善を図り、豊かな緑や眺望、街並みなど、このまち独自の価値を活かした豊かな生活環境を育むまちづくり』

この設立目標を達成する為、住民の皆様方よりの意見募集・アンケート・まち歩き調査そしてNewsletterを通じ決定した『まちづくり構想計画』の早期実現を目指し鋭意取り組み中です。

特に保久良四地区の最良の特徴である、「だんじり祭り」を通じた保久良四地区全住民の和合力を活かし、新旧住民同士の交流を更に増し、互いに助け合える環境づくりを早期に完成させ、将来に備えたい。その為にも、「まちづくり構想・計画（地区将来像）」の周知徹底と早期実現化を図りたく、保久良四地区全住民の皆様方の更なるご協力をお願いしたい。

